

編輯室內外

陽春三月となるも春心未だ生せず、家庭を主としたる雑祭は家々に行はるるである。うが一度眼を轉じて帝國内外の情勢を視るときに吾人はうたゝ憂愁の思ひなき能はざるものである。昨は英と親しみを爲す所聯は今は獨逸と同盟を結び、ベルガン半島はいよゝ多事多難なるを免れない、而かも第二次世界戦争も發するが如くして發せず米國の劃策せる世界平和は果して實現し得るや否。

帝國第七十五回議會もいよゝ重大議案を審議しつゝあるが百三億豫算に對してはインフレの悪化、物動計畫の窮屈化と豫算の實施、物資價格の基準等の難問が注目され、財政經濟の實情に照らし豫算實施上の矛盾が存するにあらずやとの疑ひはある、乍去軍事費を中心とする臨時豫算の性質上修正を加ふべき可能性の乏しきを感じ、衆議院は勿論貴族院に於ても無修正決議を見るであらう、豫算實施の上に財政當局の深甚なる注意と慎重なる努力とに期待する次第である。

産業組合の保險會社買収の問題は愈々政治化し來つた、産組の法規上に關する問題

編輯室內外

保險會社への脅威、有馬會長と金光氏の個人的契約に基く内金の受渡等相當論議さるべき諸點があるので容易に解決し得ないであらう之も國難の一形相か。

またしても陸軍々人の政治に進出の議論が持ち出された、統帥と政治との關係はその場限り批判すべきものでない、政黨と軍部と遊離した關係に立つ問題でもない、實に恒久的な建設的な組織と指導の精神を如何に發揚し顯現し得るかが重要な目標であらねばならぬ。

所得税の増收計畫と地方分與税制新設と市町村民税制新設とは中央地方を遁しての財政上一大革新の方策である、中央も地方も財政の窮乏を告げて居ることは事實であるが市町村の如き歳々々國勢の複雑多岐なる増加には一大苦痛を感じて居るであらう。此際斯種税制の改新に依つて夫れが緩和調節せらるるならば塞に至幸此上なきことである。

上司小朝氏は鮎詰め列車の苦痛の深刻なるを嘆じて鮎詰めの爲に風俗を紊し、或は劇烈なる乗車競争から、弱肉強食的の險惡なる影響を國民精神に及ぼす害毒に至つては營利本位の當局者に言つてみたて到底解るまいと云つて居る、御尤の言で御座る

群馬郡總社町縣黨試驗場の試みで蠶業講習生三十名の手により五日第一回製炭を終つたが原材二百貫で約四十貫の良質の木炭製造に成功。

炭竈は奥行七尺、竈壁二尺五寸のもの同日荒井蠶糸課長も視察し「竈出し」を指揮しながら「いゝ炭だ……」と手に取つて大喜び、古桑株の製炭により根病に巢喰ふ蠶象虫、紫絞羽病菌、かみきり虫を燒却できるの之れまさに一石二鳥の方策。

東京市長頼母木桂吉氏享年七十四を以て病の爲めに急逝す、曩年奥田義人博士市長在職中薨去せられた、頼母木氏は二人目である、東京市民は衷心から弔意を表すべし。(一五・二・二二、桃)

定價一部 五十錢
一ケ年分 金六圓

發行所 東京市麹町區霞關一丁目内務省内
社團 道路改良會
電話銀座(57)四二七
東京市世田谷區代田臺丁目七八〇

編輯者 小島 效
印刷所 東京市小石川區諏訪町五六
印刷者 常磐印刷所
奈良直一